

あわつと感染症情報 (2025-32)

・千葉県安房保健所発
2025年 8 月 15 日配信

☆今週のトピックス☆

千葉県内で「麻疹」患者の発生がありました。

成田市で麻疹患者の発生がありました。

患者は、周囲に感染させる可能性のある期間に商業施設の利用があり、不特定多数の人と接触した可能性があります。患者と同じ施設を同じ時間帯に利用し、利用後10日経ってから発熱や発疹等の麻疹を疑うような症状が現れた場合には、最寄りの保健所にご連絡ください。

(詳細については下記 URL を参照)

※麻疹の発生について(千葉県)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2025/documents/measle0813.pdf>

！麻疹は5類感染症・全数把握疾患です。

診断した医師は、直ちに最寄りの保健所に発生届を提出する必要があります。

麻疹を疑った時点で、まずは保健所へご一報ください！

<参考>・麻疹について(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html

・医療機関向け 麻疹届出に関する ハンドブック(安房保健所) <https://www.pref.chiba.lg.jp/kf-awa/documents/hp.pdf>

☆安房管内の感染症発生状況☆

新型コロナウイルス感染症

安房

県内

★安房管内における2025年第32週(令和7年8月4日～令和7年8月10日)の定点医療機関あたりの報告数は5.00人と前週4.33人と比べ、増加しました。

(県全体の報告数は8.70人と前週8.27人と比べ、増加)

<参考>・新型コロナウイルス感染症について(千葉県)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html>

・新型コロナウイルス感染症への対応(千葉県)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-category5.html>

インフルエンザ

安房

県内

★安房管内における2025年第32週(令和7年8月4日～令和7年8月10日)の定点医療機関あたりの報告数は0.17人と前週0.00人と比べ増加しました。

(県全体の報告数は0.46人と前週0.34人と比べ、増加)

<参考>インフルエンザから身を守ろう(千葉県)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/influenza-yobou.html>

ヘルパンギーナ

安房

県内

★安房管内における2025年第32週(令和7年8月4日～令和7年8月10日)の定点医療機関あたりの報告数は0.75人と前週1.25人と比べ、減少しました。

(県全体の報告数は1.56人と前週1.21人と比べ、増加)

<参考>・ヘルパンギーナ(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/herpangina.html

感染性胃腸炎

安房

県内

★安房管内における2025年第32週(令和7年8月4日～令和7年8月10日)の定点医療機関あたりの報告数は1.25人と前週0.00人と比べ増加しました。

(県全体の報告数は3.96人と前週4.27人と比べ、減少)

<参考>・感染性胃腸炎(特にノロウイルス)について(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/norovirus/>

・ノロウイルスに関するQ&A(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

✿ 安 房 管 内 の 全 数 届 出 疾 患 ✿

全数届出疾患:全ての医師の方は、対象の感染症の診断を行った際に、掲載の届出様式により最寄りの保健所に届け出る必要があります。

<2 類感染症>

★結核 1件

結核は、結核菌によって発生するわが国の主要な感染症の一つです。

結核菌は主に肺の内部で増えるため、咳、痰、発熱、呼吸困難等、風邪のような症状を呈することが多いですが、肺以外の臓器が冒されることもあり、腎臓、リンパ節、骨、脳など身体のあらゆる部分に影響が及ぶことがあります。

特に、小児では症状が現れにくく、全身に及ぶ重篤な結核につながりやすいため、注意が必要です。

<参考>結核について(千葉県) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou03/

<4 類感染症>

★日本紅斑熱 1件

日本紅斑熱は、病原体を持つマダニに咬まれることで感染します。

マダニの多くは、春から秋にかけて活動が活発になり、農作業や草刈りなどで山林や草むらに立ち入る際には、①長袖、長ズボンなど肌の露出のない服装にする②忌避剤(防虫スプレー)を使用する③帰宅したらすぐに着替え、シャワーを浴びる、などの対策をしましょう。

★つつが虫病 1件

つつが虫病は、つつが虫病原体を保有するツツガムシに刺されることで発症するダニ媒介感染症です。刺されると5～14日程の潜伏期間を経て発症します。主な特徴としては、発熱、発疹、刺し口にてきる痂皮です。

これらの症状(高熱、発疹、刺し口)は日本紅斑熱とよく似ていますので、区別が難しい場合があります。

<参考>・日本紅斑熱について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/eiseikenkyuu/virus/madani.html>

・つつが虫病について(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000173061.html>

<5 類感染症>

★百日咳 1件

百日咳菌の感染によって、特有のけいれん性の激しい咳発作(痙攣発作 けいがいほっさ)を特徴とする急性の気道感染症です。

若年層の患者が多く、学校や施設で感染が拡大する可能性がありますので、マスクや換気等の基本的な感染対策を徹底しましょう。

<参考>・百日咳(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/whooping_cough.html

【配信元】

千葉県安房保健所(安房健康福祉センター)

あわつと感染症情報

awat-news@mz.pref.chiba.lg.jp